

「それ、前にも教えたよね」 「そんなこともできないの」

↑簡単に言われるこれ、パワハラ寸前 NG ワードです

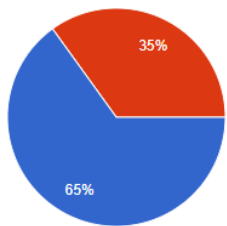
『わからないので聞いたのに「それ、前にも教えたよね」という、それを言われるのが嫌で聞きたいことも聞けない』『手まどっていたら「そんなこともできないの？もういい、わたしがやるから」と、やってしまって教えてくれない』『ちょっとしたことを聞いただけなのに、「教える担当はわたしじゃないから」と言われてしまった』……、職場がこれでは困ります。

直接いうのでなくても聞こえるように大きさにため息をつく、がちやんがちやんと大きな音をたてながらものを出したりされる、挨拶しても無視される、というのも大きなストレスです。

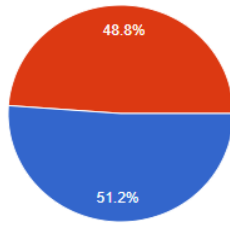
あなたが過度な恐怖心やストレスを感じれば、その行為はハラスメントです

職員組合では、2月18日～3月10日まで、弘前大学で働く1494名にweb及び紙でアンケートを配布し、472名から回答をいただきました。アンケートで昨年1年間のうち自分がハラスメントを受けたと回答した人は179名、そのうち106名が医療系職員でした。そして回答者のうち101名が何らかの健康被害を訴えていました。

解決方法への不安があって相談するのをためらっている人もかなりの数いることがわかりました。



● 相談した
● 誰にも相談しなかった



● 知っていた
● 知らなかった

自身がハラスメント行為を受けたと回答した123名中、誰かに相談したと答えた人は80人とどまる

ハラスメント相談員制度について、回答した41名のうち21名が知らなかった

職員組合は、弘前大学にハラスメント対策に関わる要望書を提出しました

【組合が大学に提出した要望書】

- 1, HPのハラスメント相談に関するページを見つけやすくする、目につくところにポスターを掲示する、パンフレットを配置する等、更なる周知と情報発信を行ってください
- 2, 職員に外部相談窓口の存在を周知してください
- 3, 指導的立場にある医療系職員への研修、サポート体制を充実させてください
- 4, 慢性的な人手不足を解消してください
- 5, 人事異動については、勤続年数やキャリアだけでなくその時々個人の事情に配慮してください

職員組合に入りませんか？

ハラスメントかな？と感じたら・・・

ひとりで悩まないで一緒に考えましょう。
相談先は複数あります。組合もそのなかのひとつです。

何かあった時SOSを出す先が示されていることは重要です。職員組合は、弘前大学にハラスメント相談先の広報と解決への具体的な施策を要望しています。

いっぺんに解決するのは難しくても、少しずつ改善していけるよう一緒にがんばりましょう。職員組合は、働くあなたをサポートします。加入申込書(同封)に必要事項を記入し、学内便で返送してください。加入申し込みはHPからでもできます。

弘前大学
職員組合

hiro dai.shokuso@gmail.com
☎0172-34-5539 (内) 2028



←HPはこちら
から

ハラスメントのない職場をいっしょに作りましょ